

家庭用

AC/DC 車載兼用 ポータブル冷凍冷蔵庫

冷やす蔵
Hiyasuzou PRF-50FH

取扱説明書（保証書付）



この度は当製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この説明書は本製品の使用方法と使用上の注意事項について記載しています。

ご使用時には必ずこの取扱説明書をお読みいただき、内容にしたがって正しくお使いください。

目次

安全上のご注意(必ず守ってください)	P1 ~ P2
製品仕様と製品サイズ	P4
使用方法(組立・設置・起動方法)	P7 ~ P8
お手入れ方法	P11
製品の廃棄時のご注意	P13
保証について	P15

ご使用にあたって	P3
各部の名称(前面 / 背面 / 付属品)	P5 ~ P6
使用方法(各種動作モード設定)	P9 ~ P10
故障かな?と思ったら	P12 ~ P13
エラーコードについて	P14
保証書	P15

安全上のご注意 必ず守ってください

本製品をご使用になる際には、下記の警告・注意事項を無視して誤った取り扱いをすると死亡または傷害を負う等の人身事故につながるおそれがあります。安全上のご注意をよくご理解の上、下記の警告・注意事項を守ってご使用くださいますようお願いいたします。

◆誤った使用方法で生じる危害や損害を区分けして説明しています。



警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症を負うおそれのある内容です。



注意

誤った取り扱いをしたときに、物損や軽症を負うおそれのある内容です。

◆図記号の意味を説明しています。

禁止マーク



禁止

「してはいけない」内容です。

指示マーク



指示

「必ず行っていただく」内容です。



警告



禁止

夏場の炎天下の車内に放置したり、ファンヒーターやストーブ等の発熱器具の近くなど高温になる場所に置かないでください。発火・火災の原因となります。



禁止

本体はいかなる時も逆さまにしたり45°以上傾けないでください。コンプレッサー等が故障したり、冷媒が漏れて火災の原因となります。万が一、45°以上傾けてしまった場合は、水平にして4時間以上経過してから電源をいれてください。



禁止

浴室などの水回りや、湿気のある場所で使用したり、本体に水をかけないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つける、加工する、無理に曲げる、捻じる、引っ張る、重いものを乗せる、等の破損させるようなことはしないでください。火災・感電・故障の原因となります。



禁止

本製品の設置・移動・お手入れ時は電源プラグを抜き、電源を切った状態で行ってください。感電の原因となります。



禁止

電源プラグまたはシガープラグは、コンセントまたはシガーソケットの奥までしっかり差し込んでください。完全に差し込まれていないと火災・感電の原因となります。



禁止

指定の電源(AC100V、DC12V、DC24V)以外では使用しないでください。火災・故障の原因となります。



禁止

定格を超える使い方はしないでください。たこ足配線などで定格を超えた場合、火災・発熱の原因となります。

- | | |
|--|---|
| <p> 禁止
付属のAC/DCアダプターのみご使用ください。誤ったAC/DCアダプターを使用すると火災・感電・けが・故障の原因となります。</p> <p> 禁止
動作中は濡れた手で、本体の冷却部や庫内を直接触らないでください。手がくっつきけがをする原因となります。</p> <p> 禁止
改造したり、自分で修理を行わないでください。感電・火災・けがの原因となります。製品に異常があると感じた場合は、販売店またはビーカム株式会社までお問い合わせください。</p> <p> 禁止
子供や幼児に使わせないでください。思わぬ事故の原因となります。</p> <p> 指示
使用していない時は電源プラグまたはシガープラグを抜いてください。火災・感電・けがの原因となります。</p> | <p> 禁止
濡れた手で電源プラグやシガープラグの抜き差しをしないでください。感電・故障の原因となります。</p> <p> 禁止
発煙・発火などの異常が発生した場合、電源プラグを抜きただちに使用を停止してください。火災・感電・けがの原因となります。</p> <p> 禁止
浴室などの水回りや、湿気のある場所で使用したり、本体に水をかけないでください。感電・火災の原因となります。</p> <p> 禁止
すき間から金属などの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。</p> <p> 指示
電源プラグやシガープラグにホコリや水気がある場合はよく拭き取って乾燥させてください。感電・火災・ショートの原因となります。</p> |
|--|---|

⚠ 注意

- | | |
|--|--|
| <p> 禁止
電源プラグ着脱はプラグを持って行ってください。電源コードを押し込んだり引っ張ったりすると断線・感電のおそれがあります。</p> <p> 指示
本製品は10～38度かつ湿気の少ない環境下で使用してください。浴室等の湿気の多い場所で使用すると発火・感電・故障のおそれがあります。</p> <p> 指示
ガスレンジや炎の近くや引火性のガスがあるところで使用しないでください。火災・変色・故障の原因となります。</p> <p> 指示
吸気口を塞がないでください。設置の際は周囲に20cm以上の十分なスペースを確保してください。火災・冷却性能低下の原因となります。</p> <p> 指示
庫内にペットなどの生き物を入れないでください。凍死するおそれがあります。</p> <p> 指示
庫内に瓶などの割れやすい物を入れないでください。</p> | <p> 禁止
電源コードに亀裂が生じていたり断線している場合は使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p> 指示
本製品は防水・防塵仕様ではございません。雨などの水で濡れる場所や、砂浜などの砂塵・粉塵がある場所で使用しないでください。感電・故障の原因となります。</p> <p> 指示
お手入れ時は、化学ぞうきん、メラミンスポンジ、たわし、磨き粉、ベンジン、シンナー、アルコール、酢などを使用しないでください。変色・変質・破損の原因となります。</p> <p> 指示
庫内に水などの液体・氷・ドライアイスを直接入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。</p> <p> 指示
霜取り時にヘアドライヤーで溶かしたり、ドライバー等の鋭利な工具などで削り取らないでください。破損・故障の原因となります。</p> <p> 指示
不安定なところで使用しないでください。けが・故障の原因となります。</p> |
|--|--|

ご使用にあたって

車載時の電源について

- ・車のシガーソケットで使用する場合はエンジンがかかっている状態でご使用ください。
また、エンジンを止めるときはシガープラグを抜いてください。バッテリー上がりの原因となります。
- ・電気自動車でご使用される場合、走行可能距離が短くなる場合があります。

設置場所について

- ・直射日光の当たる場所でご使用しないでください。冷却性能が追いつかない場合がございます。
- ・水平かつ安定する場所に設置してください。運転中に本体が揺れたり動いたりするとコンプレッサーから振動や音が発生する場合があります。

庫内温度の目安

- ・冷蔵庫として使用する場合：果物・野菜：5℃ ～ 10℃
- ・冷凍庫として使用する場合：魚介類・水産物：-11℃ ～ -4℃ / 冷凍肉：-18℃ ～ -12℃

取扱方法について

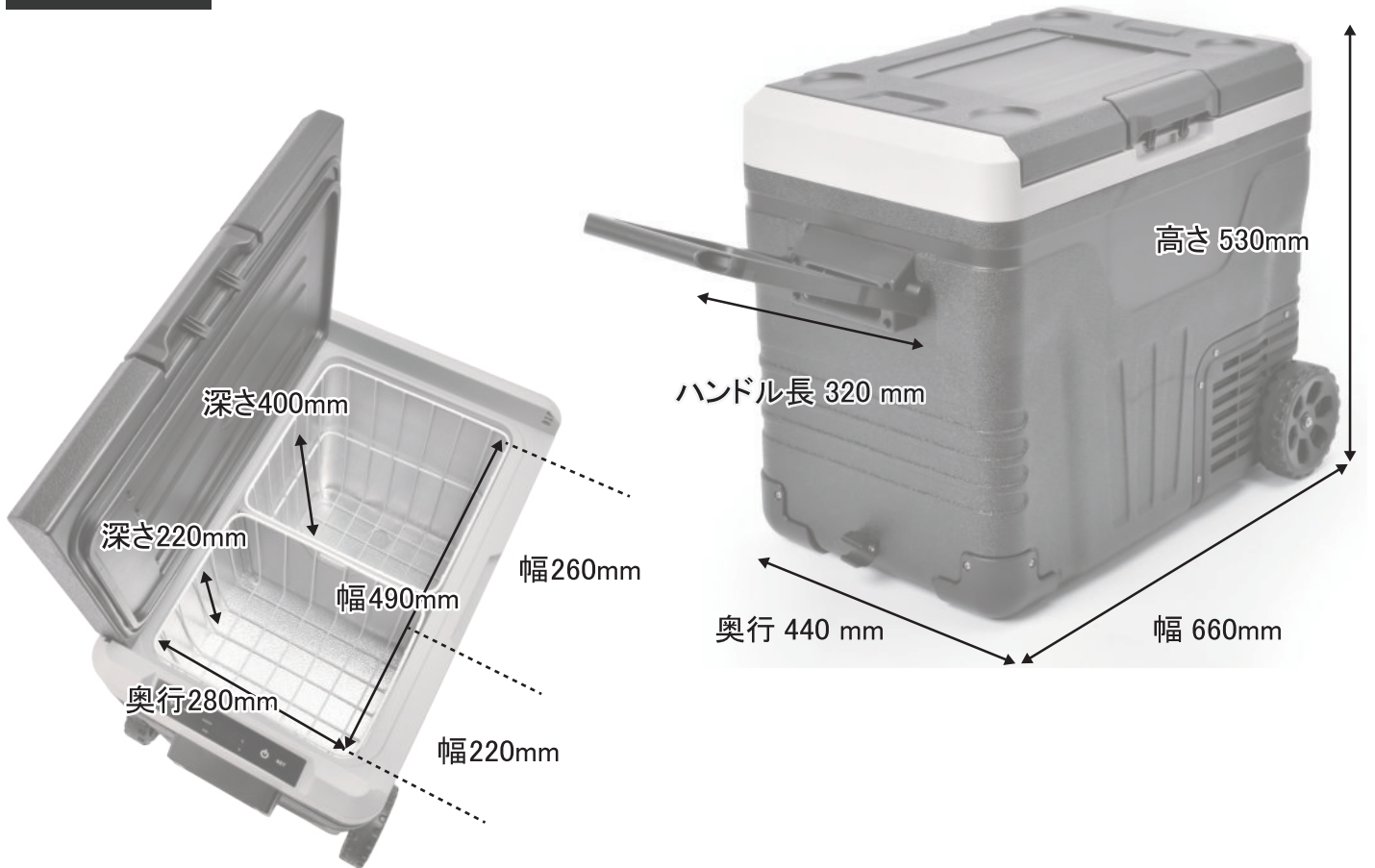
- ・運転中は庫内の排水キャップを必ず奥までセットしてください。
排水キャップが外れていると冷却性能が低下します。
- ・短時間で食品を冷やすことはできません。温かい物はあらかじめ冷やしてから入れてください。
温かいものを入れると庫内の温度が上昇して他の食品などに影響を与える場合があります。
- ・冷凍食品を入れる場合は凍っている状態で入れてください。
- ・0℃未満に設定している場合は、缶や瓶は入れないでください。凍結して割れる場合があります。
- ・庫内の上側は構造上冷えにくくなっています。溶けやすい食品は冷却部に近い底側に入れてください。
- ・車載時は、市販のクーラーボックス用保冷剤を事前に冷やして併用するとより効果的です。
- ・ドアの開閉は短時間で行ってください。頻繁に開閉すると霜が付き冷却性能が低下する場合があります。
- ・ドアを閉める際は、ラッチがしっかりと止まっているか確認してください。ラッチの掛かりが不十分ですと冷却性能が低下するとともに、庫内に霜が付きます。
- ・庫内に入れる時は、食品はラップに包んだり保存容器に入れ、飲み物は栓を締めて入れてください。
においが移りの原因となったり、乾燥や湿気で食品が痛む場合があります。
- ・使用に伴い庫内に霜や氷が付く場合があります。庫内についた霜や氷の厚さが約5ミリを超えた場合は、冷却能力を向上させるために、使用後に電源を切り霜取りを行ってください。
- ・初めて電源を入れる前や移動や運搬で万が一 45°以上の傾きが生じた場合は、4時間以上水平に保った後に電源を入れてください。コンプレッサーに負荷がかかり故障する原因となります。

においについて

- ・ご購入後、ドアをあけると製造工程で生じる部材のにおいがすることがあります。
使用とともに、においは消えますのでそのままご使用ください。
- ・長期保管する際は、ドアを少し開けて保管すると庫内に嫌なにおいがたまりにくくなります。

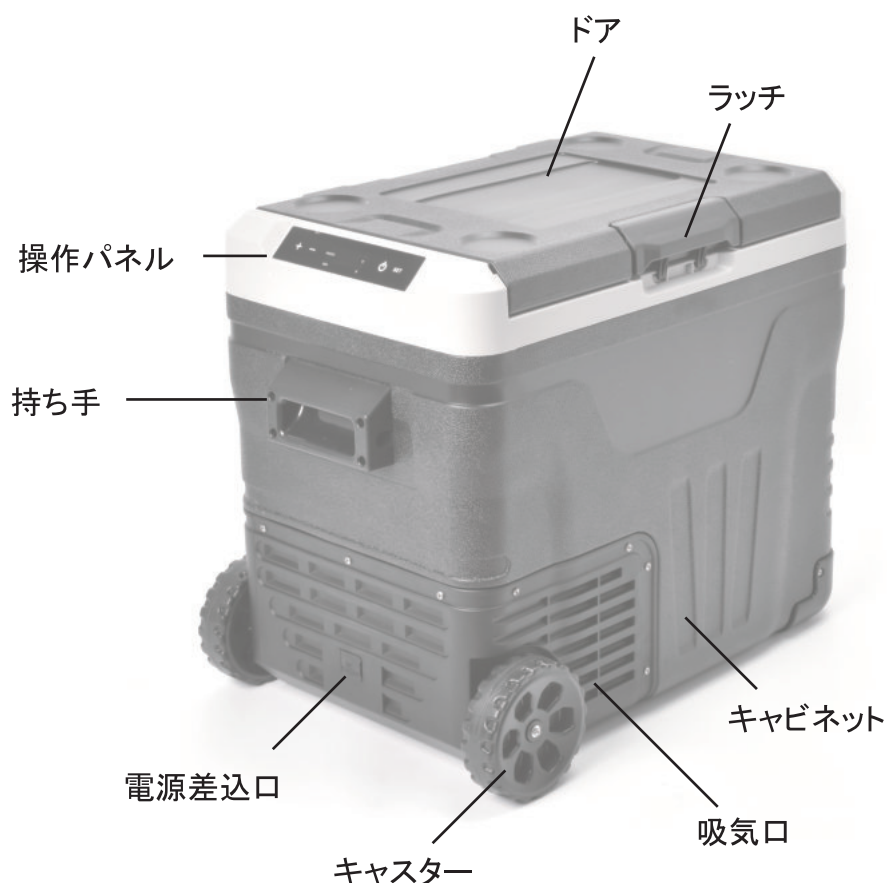
製品仕様と製品サイズ

50L | ZDB-50

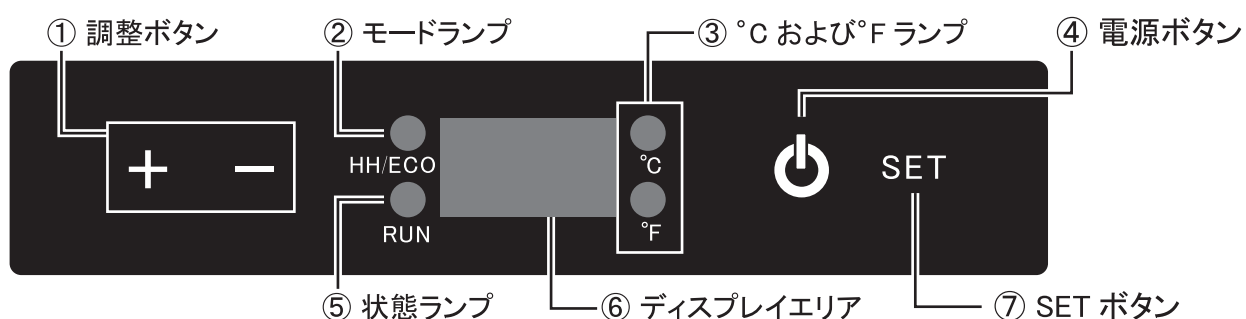


商 品 名	AC/DC 車載兼用 ポータブル冷凍冷蔵庫 Hiyasuzou（冷やす蔵）50L
型 番	PRF-50FH
外寸寸法	外寸：幅 660 x 奥行 440 x 高さ 530 mm 庫内：幅 490 x 奥行 280 x 深さ 400 mm キャスター：直径φ140mm x 幅 40mm ハンドル長：320mm
製品重量	約 16 Kg
発泡剤	シクロペンタン
冷媒・封入量	R600a 39g
定格電圧	AC 100-240V(50/60Hz)：0.8A DC 12V ：6A DC 24V ：3.5A
消費電力	AC 電源接続時：80W
気候クラス	SN/N/ST
使用温度	10 ～ 38℃
設定可能温度	-20℃ ～ 20℃

各部の名称と機能（前面）

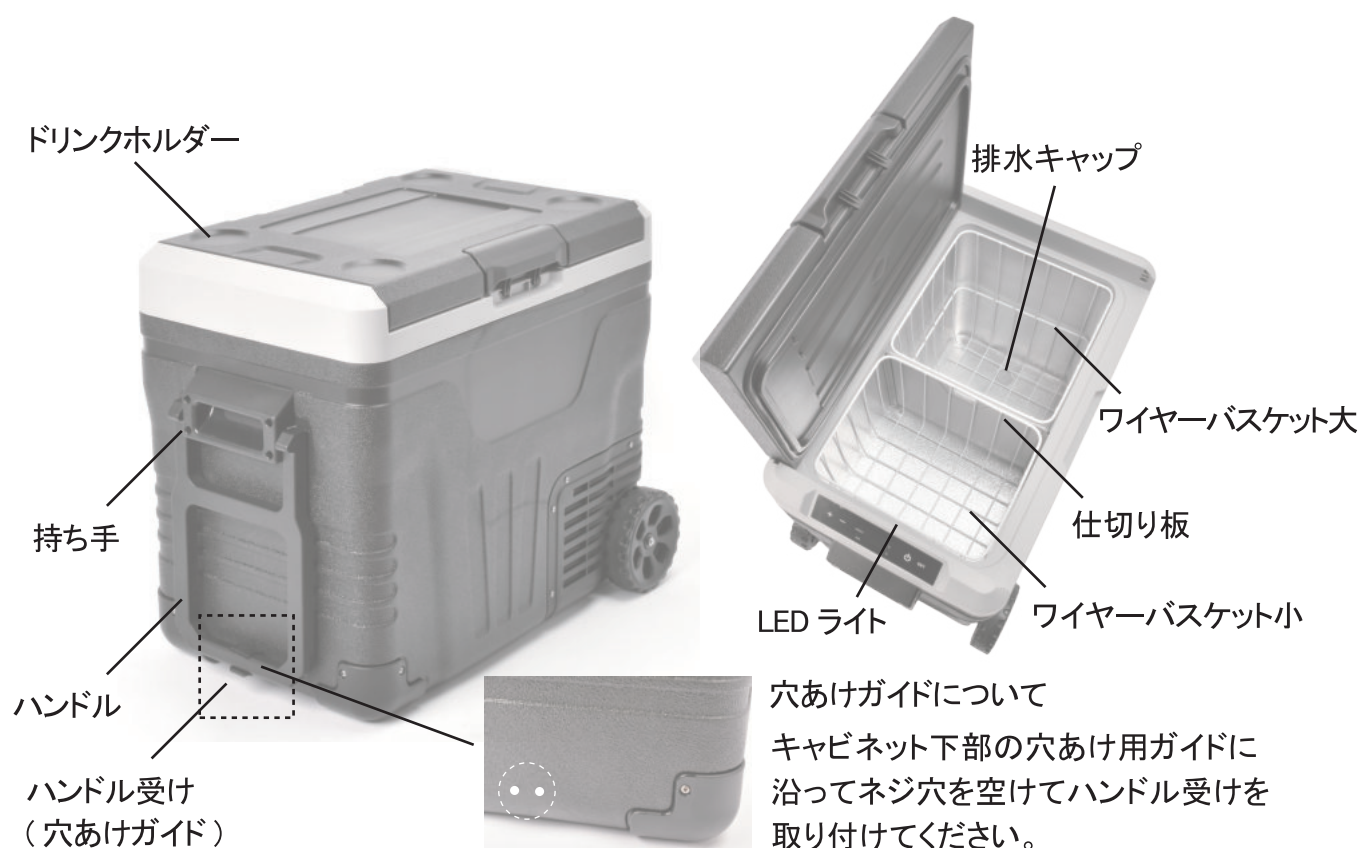


操作パネル各種名称



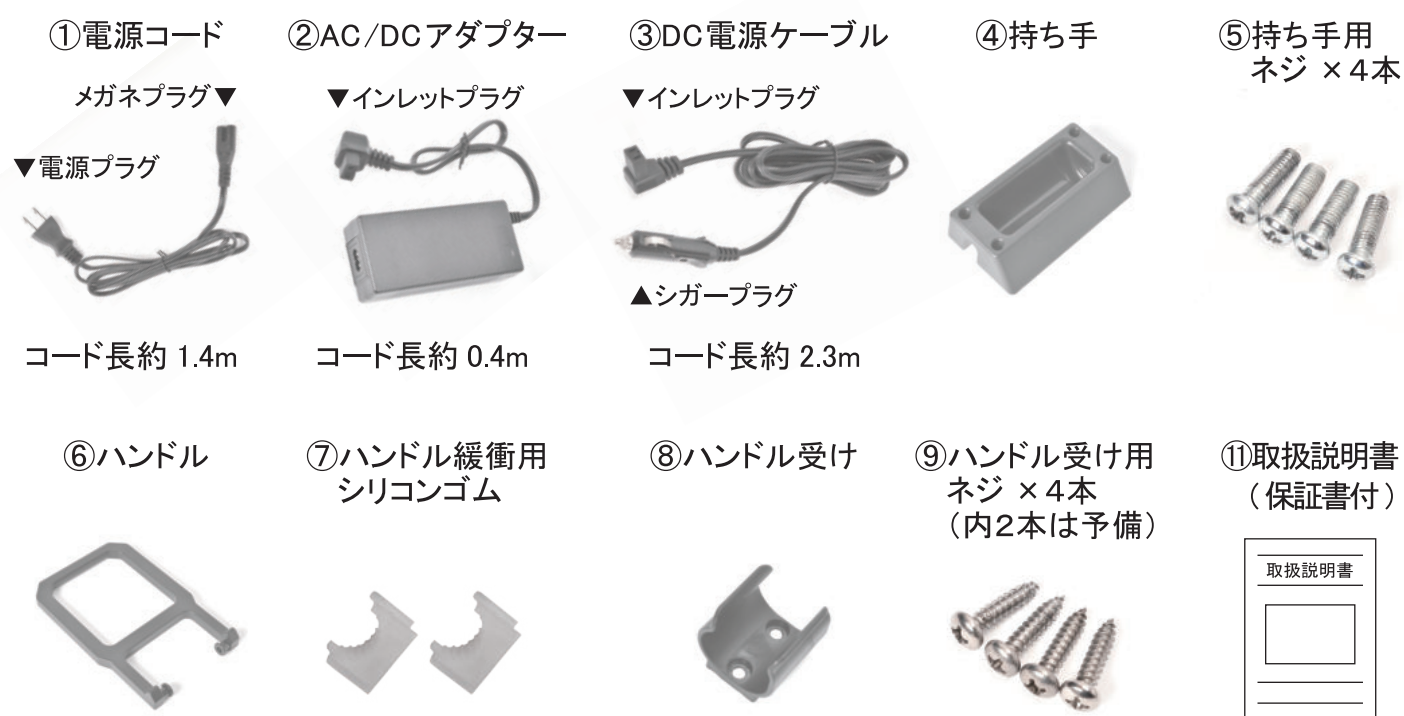
- ① 調整ボタン : -20 度～ 20 度の範囲で庫内の温度調整可能です。
温度を上げる「+」、温度を下げる「-」
- ② モードランプ : 「赤色」の点灯は「急速冷却モード (HH)」です。
: 「緑色」の点灯は「省エネ運転モード (ECO)」です。
- ③ °C および°F ランプ : 温度が「摂氏 (°C)」または「華氏 (°F)」どちらで表示されているか表します。
- ④ 電源ボタン : 電源「ON/OFF」を変更できます。
電源「ON」にする時は 1 回タッチし、電源「OFF」にする時は 3 秒タッチし続けます。
- ⑤ 状態ランプ : 「赤色」の点灯は「電源 OFF」で「AC/DC 電源から通電がある状態」です。
: 「緑色」の点灯は「電源 ON」かつ「コンプレッサー動作中の状態」です。
- ⑥ ディスプレイエリア : 庫内温度など各種情報が表示されます。
- ⑦ SET ボタン : 動作モードやディスプレイ表示を変更できます。

各部の名称(背面・庫内)



各部の名称(付属品)

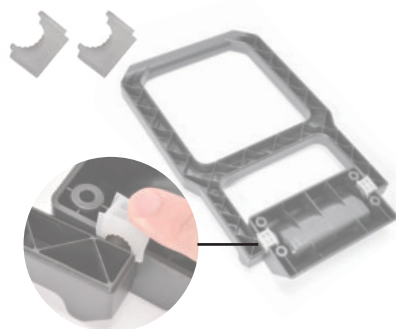
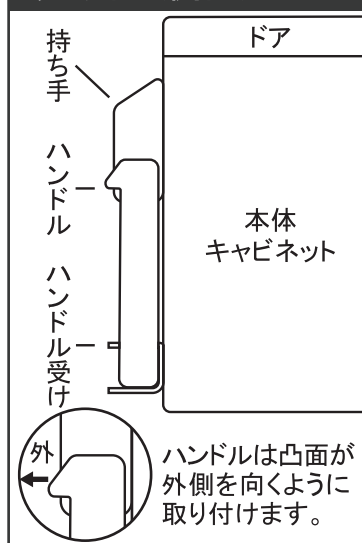
ご使用前に、付属品がすべて揃っているか確認してください。



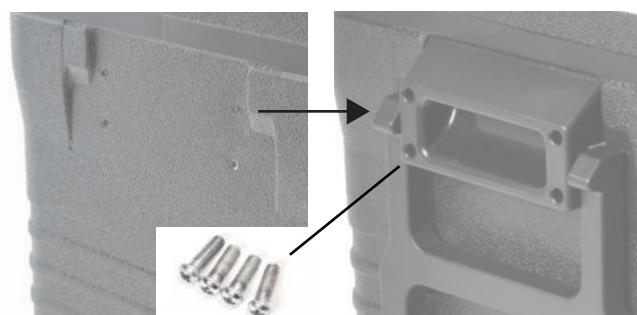
使用方法（組立・設置・起動方法）

組立方法（水平で安定した場所に置いて作業してください）

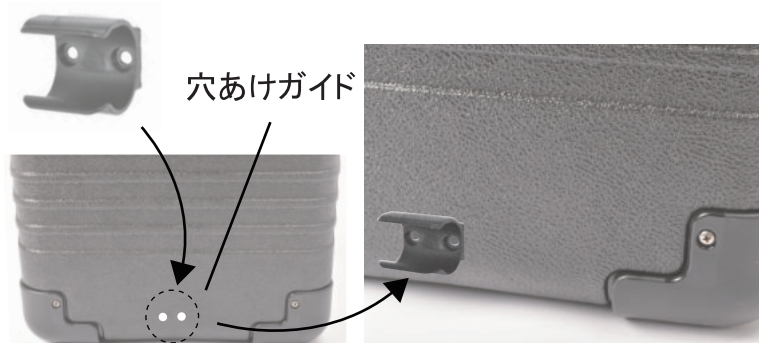
完成図（側面）



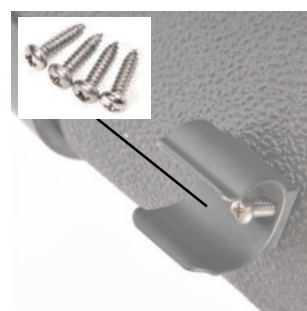
1. 持ち手とハンドルを上図のとおり組み合わせた後、ハンドル緩衝用シリコンゴムをはめ込みます。



2. 上図のようにキャビネットのネジ穴に「1.」で組み合わせた持ち手とハンドルを合わせ、持ち手用ネジでしっかり締めます。



3. ハンドル受けの穴をキャビネット下部の穴あけガイド（丸く小さなくぼみ）に合わせます。（最初に錐などで下穴を開けておくとネジが止めやすいです。）



4. ハンドル受け用ネジを締めながらキャビネットにネジ穴を開けて固定します。

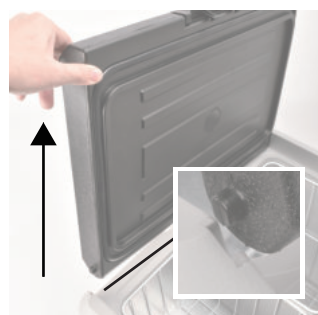


5. 固定したハンドル受けにハンドルを固定して完成です。

ドアの左右組み換え方法



1. ドアを垂直に開きます。



2. ドアを本体の凹面側から引き上げて外します。



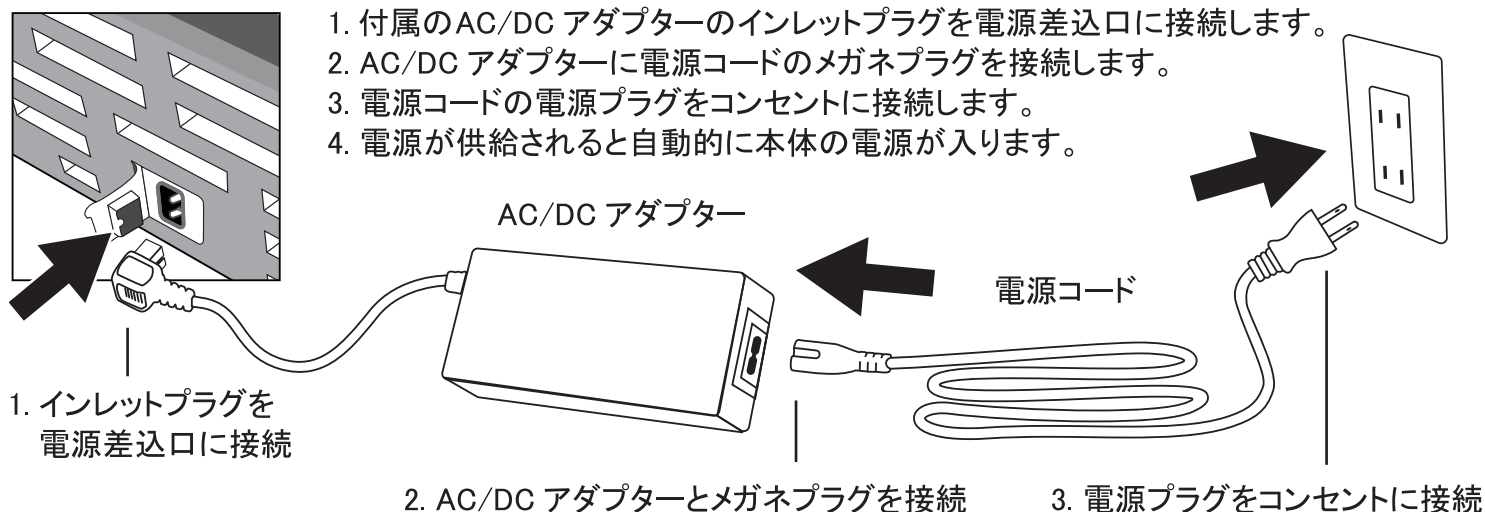
3. ドアの向きを変えてドアの凸面を本体の穴に合わせてセットします。



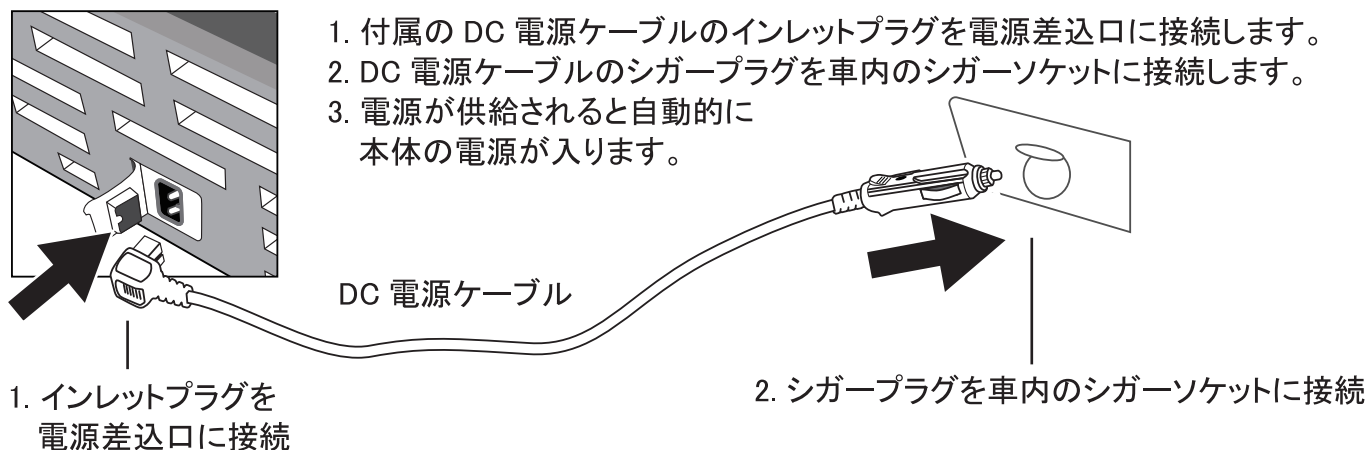
4. ドアの左右組み換え完成です。

設置・起動方法

■ AC/DCアダプターで接続する場合

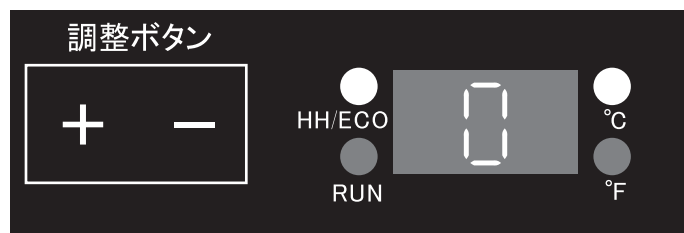
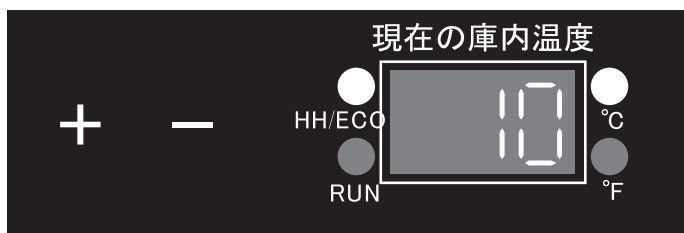


■ DC電源ケーブル接続の場合（車載時）



（補足）電源 ON から OFF にする場合は、電源ボタンを 3 秒以上タッチし続けてください。
電源 OFF から ON にする場合は、電源ボタンを短くタッチするだけで ON にできます。

温度調整方法



1. 電源が入るとディスプレイエリアに現在の庫内温度が表示されます。しばらくするとコンプレッサーが自動で動作し冷え始めます。
2. 調整ボタンをタッチして、庫内温度を -20°C ～ 20°C までの範囲で設定できます。ボタンをタッチし続けると連続して変更できます。

■ 庫内温度の目安

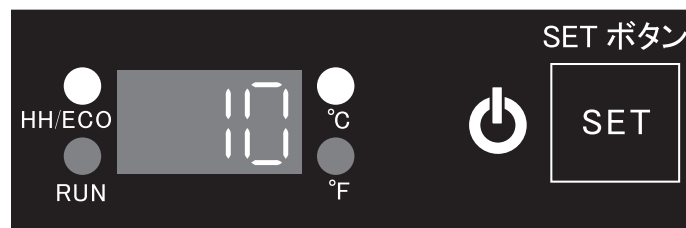
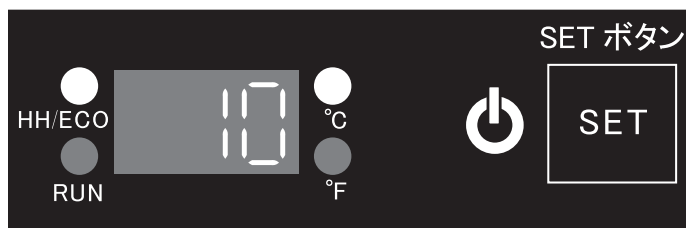
冷蔵庫として使用する場合：果物・野菜： 5°C ～ 10°C

冷凍庫として使用する場合：魚介類・水産物： -11°C ～ -4°C / 冷凍肉： -18°C ～ -12°C

使用方法（各種設定モード切り替え）

操作パネルの「SETボタン」を3秒間以上タッチし続けるとディスプレイエリアの表示が点滅し設定モードになります。
「①バッテリー保護設定モード」、「②省エネ設定モード」、「③温度単位の表示設定」の設定を変更できます。

設定モード切替方法



1. 「SET」ボタンを3秒以上タッチし続けると、ディスプレイエリアの表示が点滅し、設定モードが起動します。
2. ディスプレイエリアが点滅している状態で、「SETボタン」をタッチすると「①バッテリー保護設定モード」、「②省エネ設定モード」、「③温度単位の表示設定」の順に切り替えられます。

※設定モード中は「SETボタン」を4回タッチしたり、何も操作していない状態が10秒以上続くと自動的に設定モードが終了します。

① バッテリー保護設定モード

本体には3段階のバッテリー保護設定モードがあり、車両のシガーソケット接続時にバッテリー上がりが起きないように保護しながら冷却ユニットが動作します。シガーソケットから供給されるバッテリーの電圧がバッテリー保護設定モードの停止電圧を下回ると冷却ユニットが自動的にOFFになり、走行中やアイドリング中にバッテリーが作動電圧まで再充電されると自動的に冷却ユニットが再稼働します。車載時でのシガーソケット使用時はH3(強)で動作させ、コンセントでのAC/DCアダプター使用時はH1(弱)での動作がおすすめです。

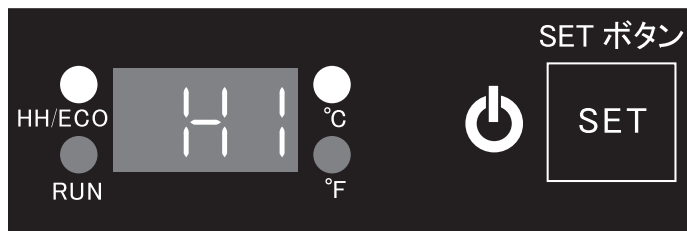
バッテリー保護設定モード		H1(弱)	H2(中)	H3(強)
12V	停止電圧	9.6V	10.2V	11.2V
	作動電圧	10.9V	11.4V	12.4V
24V	停止電圧	21.3V	22.3V	24.1V
	作動電圧	22.7V	23.7V	25.2V

※普段と異なる車両に車載する際などにエラーコードF1が表示された場合は、車両間の電源出力差があるためバッテリー保護設定が効いている場合があります。バッテリー保護設定モードを一つ低いレベル(例H3→H2)に調整してみてください。

※エンジンをオフにしてもシガーソケットからの電源供給が続く車両でお使いの場合、バッテリー保護設定モードを最高の「H3」に変更してご使用ください。バッテリー上がりの原因となります。

① バッテリー保護設定モード(つづき)

■ 設定方法

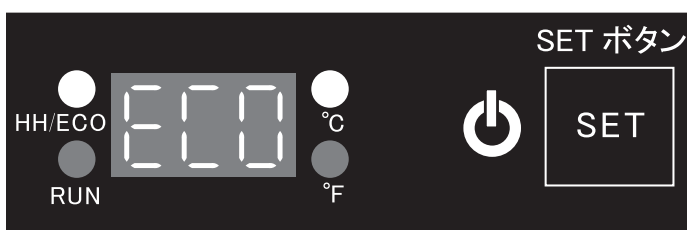


1. 「SETボタン」を3秒以上タッチ続けて設定モードに入ります。ディスプレイエリアに「H1～H3」が点滅表示されたら「バッテリー保護設定モード」です。

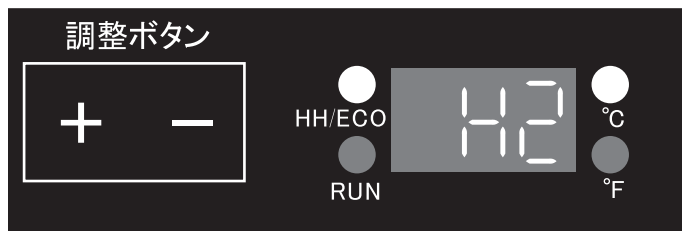
② 省エネ設定モード

本製品には、「急速冷却モード(HH)」と、「省エネ運転モード(ECO)」の2つの運転モードがあります。省エネ運転モード(ECO)中はコンプレッサーが低速運転となり消費電力を抑えます。冷凍食品や高温環境では冷却能力が高い急速冷却モード(HH)でご使用ください。

■ 設定方法



1. 「SETボタン」を3秒以上タッチし続けて設定モードを起動した後、更に「SETボタン」を1回タッチします。ディスプレイエリアに「ECO」または「HH」と点滅表示されたら省エネ設定モードです。

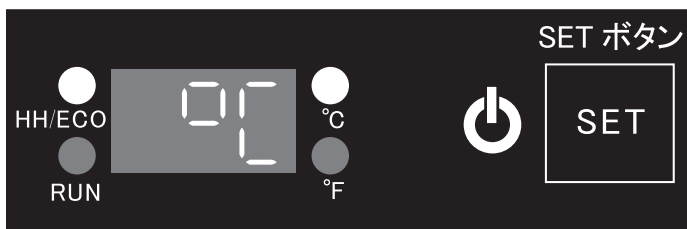


2. 調整ボタンの「+」または「-」をタッチして、「H1～H3」のバッテリー保護設定モードの切替ができます。設定後、数秒待つと自動的に温度表示に変わり設定完了です。

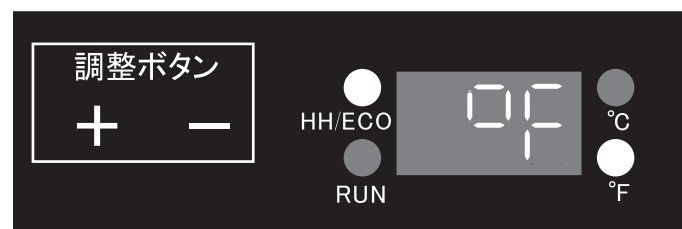
③ 温度単位の表示設定

ディスプレイエリアの温度表示を「°C(摂氏)」または「°F(華氏)」に変更できます。設定後はディスプレイウィンドウが数秒間点滅した後、温度単位が記憶されます。

■ 設定方法



1. 「SETボタン」を3秒以上タッチし続けて設定モードを起動した後、更に「SETボタン」を2回タッチします。ディスプレイエリアに「°C(摂氏)」または「°F(華氏)」が点滅表示されたら温度単位の表示設定です。



2. 調整ボタンの「+」または「-」をタッチして、温度単位の切替ができます。設定後、数秒待つと自動的に温度表示に変わり設定完了です。

お手入れ方法

本体のクリーニング

1. クリーニングする前に、電源プラグまたはシガープラグを、コンセントまたはシガーソケットから抜いてください。
2. 吸気口に付着したホコリは掃除機や、乾いた布などで取り除いてください。
3. 本体外面・庫内の汚れは食器用洗剤を少し含ませた柔らかい布で汚れを取り除いてから、よく絞った布で水気をよく拭き取ってください。

※ メラミンスポンジ・たわしなどを使うとキズが付く原因となります。柔らかい布をご使用ください。
※ 強酸性や強アルカリ性などの強力な洗剤は使用しないでください。

本体の霜取り

本体を低温の冷凍モードに設定にして長時間作働させると、庫内の内壁に霜や氷が蓄積され冷却機能が低下する場合があります。霜や氷の厚さが約 5ミリを超えた際は、冷却効率を向上させるために霜取りを行ってください。霜や氷を溶かすには、以下の手順に従ってください。

1. 本体の電源を切り、電源プラグまたはシガープラグを、コンセントまたはシガーソケットから抜きます。
2. 庫内に保管している物をすべて取り外します。
3. ドアを開けたまま、霜や氷が完全に溶けるまで待ちます。
4. 氷が溶けたら排水キャップを外して水を排出します。
5. 残っている水分を乾いた柔らかい布で拭き取って完全に乾かします。

警告: 霜取り時にドライバーやヘラ等の道具やドライヤー等を使用しないでください。

長期間使用しない場合の保管方法について

1. 本体の電源を切り、電源プラグまたはシガープラグを、コンセントまたはシガーソケットから抜きます。
2. 庫内に保管している物をすべて取り外し霜取りを行います。
3. ドアを少し開けたまま2～3日放置し乾燥させた後にドアをロックします。
(数日乾燥させることで、においの発生を軽減できます。)
4. ホコリを被らないようポリ袋などに入れ、直射日光が当たらず湿気の少ないところに保管してください。

運転時の作動音について

- ・コンプレッサー稼働時に冷媒の流れによってゴボゴボという音が聞こえるのは正常な作動です。
- ・作動中に本体が傾いていると振動や作動音が大きくなることがあります。本体内部の冷媒ユニットは傾きに弱い
ため傾いた場所に設置すると故障の原因になります。必ず水平な場所でご利用ください。

故障かな？と思ったら

「故障かな？」と思ったら、以下の確認を行ってください。

確認しても改善しない場合は、電源プラグを抜いてご購入先の販売店に修理をお申し付けください。

症状	考えられる原因と確認事項
本体が起動せず LED ライトも点灯しない	・ 電源コード・AC/DC アダプター・DC 電源ケーブルが正常に接続されていない 付属の電源コード、AC/DC アダプター、DC 電源ケーブルを電源差込口にしっかり差し込んでください。 ・ 車載時にシガーソケットの電源が OFF になっている シガーソケット電源の ON/OFF スイッチのある車種ではシガーソケット電源を ON にしてご使用ください。 ・ 車載時に、バッテリーの電圧レベルが低下している 車のバッテリー上がり防止のため電圧が低くなるとバッテリー保護が作動します。 エンジンをかけて車のバッテリーを十分に充電してください。
庫内が全く冷えない (ディスプレイエリアに エラーコードが表示)	(エラーコード F1 が表示されている場合) ・ バッテリー保護の設定レベルが高すぎる バッテリー保護設定を低いレベルに変更する (H3→H2) など ・ 車両のバッテリーの電圧が低すぎる バッテリーをテストし、必要に応じて充電します。 (その他のエラーコードが表示されている場合) エラーコード表をご覧ください。
庫内があまり冷えない (コンプレッサーは動作 している)	・ 食品を詰め込み過ぎている 庫内に詰め込みすぎず一定のすき間を空けて入れてください。 庫内の冷気が行き渡らず冷えが悪くなります。 ・ 温かいものを入れている 事前に冷ましてから庫内にいれてください。 ・ 設定温度が高すぎる 設定モードを使用し庫内の温度設定を下げてください。 ・ 周囲の気温が高すぎたり、直射日光や発熱器具の熱が当たる場所で使用している。 直射日光や発熱器具の熱が当たらない、日陰で涼しい場所に設置してください。 ・ 庫内の内壁の氷や霜が厚すぎる 霜取りを行ってください。 ・ ドアを頻繁に開いたりしっかり閉めていない ドアはできる限り閉めておき、頻繁に開けないようにしてください。 ・ 空気の循環が不十分で正常に作動していない 本体の周囲に物を置かずに、空気の循環が良い場所に設置してください。

庫内が冷却されすぎる (コンプレッサーが連続的に動作する)	・ 設定温度が低すぎる 設定モードを使用し、温度を高く設定してください。
本体がうるさい	・ 本体が傾いている 本体を水平な場所に置いて使用してください。 ※本体内部の冷媒が傾くと、故障の原因となったり振動や動作音が大きくなります。 ・ 電圧が正しくない 付属の電源コード、AC/DC アダプター、DC 電源ケーブル を使用してください。 ・ コポコポと水が流れるような音がする 内部の冷媒が循環している際に水が流れるような音がする場合がありますが異常ではございません。 ・ 本体に壁や物などが触れている 動作中は本体周辺に物を置かないでください。
庫内からにおいがする	・ 庫内においの原因となる汚れが溜まっている 庫内をお手入れをした後、ドアを開けて十分に乾燥させてください。 ・ 食品を密閉せずに庫内に入れている。 庫内に食品を入れる際に、ラップに包んだり、保存容器に入れる等、密閉して入れてください。
庫内に霜が多く付く	・ ドアに物が挟まっていたり、半開きになっている等、しっかり閉まっていない状態で作動させている しっかりドアを閉めてご使用ください。

製品の廃棄時のご注意

家電リサイクル法では、ご使用済の冷蔵庫または冷凍庫を廃棄される場合、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象製品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

エラーコードについて

ユニットの稼働中に、ディスプレイエリアにエラーコードが表示された場合は、次の表を参照してください。

F1 低電圧表示	AC/DC アダプターまたは、車載用の DC 電源からの電圧が低い バッテリー電圧を確認するか、バッテリー保護モードの設定をレベルを下げるなど調整します。 バッテリー電圧が低い場合は充電してから使用してください。
F2 ファンの異常	ファンに過負荷がかかっている。 電源を切り電源プラグまたはシガープラグを、コンセントまたはシガーソケットから抜いてください。 吸気口のホコリなどを掃除してから約 5 分後に電源が起動するか確認してください。
F3 コンプレッサー動作異常	コンプレッサーが頻繁に ON/OFF を繰り返している则表示されます。 本体の電源を切り、5 以上分間待ってから再起動します。
F4 コンプレッサー動作異常	コンプレッサーの運転速度低下しています。 本製品の電源を切り電源プラグまたはシガープラグを抜いた後に 5 分以上経ってから再起動してください。本製品の設定モードでバッテリー保護設定モードを「H1」や、省エネモードを「急速冷却モード (HH)」に変更して作動するか確認してください。
F5 コンプレッサー温度異常	コンプレッサー周辺に熱が溜まっています。 本製品を風通しが良く涼しい場所に移動して 30 分以上待ってから起動してください。
F6 コンプレッサー基板異常	コンプレッサーの基板に異常があります。 電源を切り電源プラグまたはシガープラグをコンセントまたはシガーソケットから抜いた状態で、本製品を水平な場所に 4 時間以上置いた後に電源をつけてください。
E0 / E1 温度センサー異常	温度センサーに異常があります。 本体の電源を切り、5 以上分間待ってから再起動してください。
E2 ドアの閉じ忘れ 吸気異常	ドアが適切に閉まっていない、または本体周囲の空気循環が妨げられている ドアが閉まっているか確認し、しっかりドアロックしてください。 周囲に空気の循環を妨げる壁や障害物がある場合は20センチ以上離して十分なスペースを確保してご使用ください。

保証について

下記の規約により販売店から購入日より1年間、その品質を保証します。修理ご依頼の場合は、お手数ですが下記をご記入いただき本保証書をご持参の上、ご購入先の販売店にお申し付けください。本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

保証書

【保証書】

本製品の保証内容は、電機部品等の動作に対する保証となります。外形部材の破損等は保証対象外となり、有償による修理もお受けできない場合がございます。詳しくはご購入先の販売店または下記までお問い合わせください。

品 名	AC/DC 車載兼用 ポータブル冷凍冷蔵庫 Hiyasuzou 50L			型番	PRF-50FH
保証期間	お買上げ日より1年間	お買上げ日	年	月	日
販 売 店					
お客様名					

【保証内容】

- 取扱説明書に従った通常使用により、保証期間内に動作の不具合や通電の不具合等の欠陥が生じた場合、本保証書にて、無償で修理もしくは交換を致します。
- 保証期間が過ぎた後の修理、保証の適用されない故障につきましては有償での修理となります。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有償となりますのでご了承ください。
 - (イ) 使用上の誤り、及び弊社指定以外の修理人によつての修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、落下、過度な傾きなどによる故障及び損傷。
 - (ハ) 自身・落雷・火災・水害等の天変地変、及び郊外・ガス害、異常電圧、保存上の不注意による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用品以外（業務用、レンタルなど）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 本保証書がない場合。
 - (ヘ) 取扱上の不注意、誤った使用方法での故障及び損傷。
 - (ト) 定格時間内であっても、極端な激しい作業を連続してご使用になった場合の故障及び損傷。
 - (チ) 販売証明書の添付がない場合。
 - (リ) 時間経過による変化で発生した不具合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。